

◎ 教員免許状の取得に必要な科目および単位数<各学科共通>

1. 教職課程の科目

表Ⅷ

教員免許法施行規則に定める科目区分等		本学の指定科目				
科目	各科目に含めなければならない事項	授業科目	単位	年次	最低修得単位数	
					中一種	高一種
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	☆各学科指定科目 【数学・理科】			24	28
		(P14～P23) 【情報・工業】				32
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) (注)①②	数学科教育法1	2	三	8	8
		数学科教育法2	2			
		数学科教育法3	2			
		数学科教育法4	2	四	8	8
		理科教育法1	2			
		理科教育法2	2	三	8	8
		理科教育法3	2			
		理科教育法4	2	四	8	8
		情報科教育法	4			
		工業科教育法1	2	三	8	4
		工業科教育法2	2			
		教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の理念と歴史	2	一
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)	教職の基礎		2	一	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育と社会・制度		2	一	2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達と学習の心理		2	一	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基礎		2	二	2	
教育課程の意義及び編成方法	教育課程と総合的な学習の時間		2	二	2	
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び、生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	道徳教育の理論と方法	2	三	2	
	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2	三		
	特別活動の指導法	生徒指導と特別活動	2	二	2	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導と特別活動	2	二	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育の方法と技術	2	二	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談と進路指導	2	二	2	
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ(事前・事後指導含む)	3	四	5	3
		教育実習Ⅱ	2	四		
	教職実践演習	教職実践演習	2	四	2	
合計		本学の最低修得単位数合計			59	

(注)①「各教科の教育法」の単位は、取得を希望する免許教科ごとに修得する必要がある。

②「各教科の教育法」を複数教科履修した場合、修得した単位は免許を受けようとする教科にしか計上できない。

# 数 学 科

(太字は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
数    学	代 数 学	○線形代数学 1 線形代数学 2	4 4	代数学序論 代数学 1	4 4	代数学 2 代数学 3	4 4	代数学 4 代数学 5	2 2	中学校 24  高校 28 ※③
	幾 何 学	基礎数学 1 基礎数学 2	2 2	○基礎数学 3 幾何学序論	4 2	位相数学 幾何学 1 幾何学 2	4 4 4	幾何学 3 幾何学 4	2 2	
	解 析 学	数学 A 数学 B	4 4	○解析学第 1 解析学第 2 解析学第 3 基礎数学 4	4 4 2 2	実解析学 1 実解析学 2 複素解析学 1 複素解析学 2	2 4 4 2	解析学 4 解析学 5	2 2	
	「確率論、統計学」			○統計数学 1 統計数学 2	2 2	統計数学 3 統計数学 4	4 4	確率論 応用統計学 1 応用統計学 2	2 2 2	
	コンピュータ	○プログラミング言語 1 離散数学 1 離散数学 2	2 2 2			数値解析 1 プログラミング言語 2	2 2			
教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
情    報	情報社会及び情報倫理	○情報処理 情報社会と倫理	2 2							32 ※③
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)			数値計算法 1 数値計算法 2	2 2	○計算の理論 1 プログラミング言語 3	2 2	コンピュータと情報処理 応用解析学 2	2 2	
	情報システム (実習を含む。)							データベースと情報検索 ○情報システム	2 2	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)							○ネットワークと情報通信 * 情報数学特論 1 * 情報数学特論 2	2 2 2	
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)							応用統計学 3 ○情報処理応用 情報数学特論 3 情報数学特論 4	2 2 2 2	
	情報と職業			○数学特別講義 (情報と職業)	2					

①○のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②\*の科目は、科目区分ごとにいずれか1科目以上取得しなければならない。

③中学校のみ必修となっている教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位**、**中学1種24単位**を修得したことになる。

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位**を修得したことになる。

物理学科

(太字は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
数    学	代 数 学	<b>線形代数 1</b>	2	◎代数学 I	2					中学校 24  高校 28 ※②
		<b>線形代数 2</b>	2	◎代数学 II	2					
	幾 何 学					◎幾何学 I	2			
						◎幾何学 II	2			
	解 析 学	○ <b>数学 1</b> <b>数学 2</b> 物理数学及演習 1	2 2 3	物理数学及演習 2	3	数理解析 応用解析 1 応用解析 2	2 2 2			
「確率論、統計学」			○確率及統計	2						
	コンピュータ	○ <b>情報処理概論</b>	2							

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
理       科	物 理 学	○ <b>物理 1</b>	2	電磁気学及演習 1	3	量子力学及演習 2	3	統計物理学	2	中学校 24  高校 28 ※②
		物理 2	2	電磁気学及演習 2	3	統計力学及演習 1	3	物性物理学	2	
		現代物理学序論	2	量子力学及演習 1	3	統計力学及演習 2	3	相関電子系物理学	2	
		力学及演習 1	3			固体物性	2	宇宙物理学	2	
		力学及演習 2	3					固体物理学	2	
	化 学	○ <b>化学 1</b> ○ <b>化学 2</b>	2 2	物理化学	2	量子化学	2	半導体物理学	2	
	生 物 学			○生物学 1	2			生物物理学	2	
				○生物学 2	2			複雑系物理学	2	
	地 学			○地学 1	2					
				○地学 2	2					
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○ <b>物理実験</b>	2	<b>物理学実験 1</b>	3	<b>物理学実験 2</b>	3				
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○化学実験	2						
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎生物学実験 I	1						
			◎生物学実験 II	1						
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎地学実験 I	1						
			◎地学実験 II	1						

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
情    報	情報社会及び情報倫理	○情報社会と倫理	2							32 ※②
		技術と法	2							
		知的財産法演習	2							
	コンピュータ及び情報 処理(実習を含む。)	物理情報計測	2	コンピュータ及情報処理 2	2	エレクトロニクス	2	数値計算特論	2	
		○コンピュータ及情報処理 1	2	計算プログラミング	2					
	情報システム (実習を含む。)					○情報システム データベースと情報検索	2			
情報通信ネットワーク (実習を含む。)					○ネットワークと情報通信	2	量子情報通信 量子情報物理学	2 2		
マルチメディア表現及び 技術(実習を含む。)					○計算機シミュレーション 1 計算機シミュレーション 2	2 2				
情報と職業					○情報通信産業論	2				

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学校のみ必修となっている教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「理科」を希望し、「理科」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位**、**中学1種24単位**を修得したことになる。

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位**を修得したことになる。

<卒業時に数学と理科の免許を同時に取得希望の方へ ※1年次から教職課程を履修すると、両方取得できます。>

時間割上、卒業までに数学と理科の免許を同時に修得するには、2年次水曜日の配当科目である「生物学実験Ⅰ」、「生物学実験Ⅱ」

(又は「代数学Ⅰ」、「代数学Ⅱ」)を修得し、引き続き3年次に「代数学Ⅰ」、「代数学Ⅱ」(又は「生物学実験Ⅰ」、「生物学実験Ⅱ」)

を修得しなければならないので注意すること。



都市環境学科（都市プランナーコース）

（太字は学科必修科目を示す）

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
数 学	代 数 学	線形代数	2	◎代数学Ⅰ ◎代数学Ⅱ	2 2					中学校 24  高校 28 ※②
	幾 何 学					◎幾何学Ⅰ ◎幾何学Ⅱ	2 2			
	解 析 学	数学演習 ○微分・積分 解析学基礎	1 2 2	応用解析Ⅰ	2	環境解析 数値解析	2 2			
	「確率論、統計学」	○確率・統計	2							
	コンピュータ	○情報科学	2	プログラミング言語1	2	シミュレーション工学 プログラミング言語2	2 2			
工 業	工業の関係科目	○測量実習 ○固体・流体の科学 ○Visualプログラミング デザインの基礎 測量学 材料力学 流体力学 材料力学演習 流体力学演習 地理空間情報学	2 2 2 2 2 2 1 1 2	○水理学1 ○構造力学1 ○構造力学2 ○地盤工学1 ○コンクリート材料 ○都市・地域計画 水理学2 鉄筋コンクリート構造 自然環境論 水理学および構造力学演習1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	○機能とデザイン演習 ○国土・都市行政 ○道路工学 ○河川工学 ○水文学 ○空間デザイン演習 ○海外プロジェクト論 ○環境エネルギー工学 ○熱力学・電磁気学 地盤工学2 地形・地質工学 空間設計実習 力学実験 機能とデザイン 水環境工学 維持管理工学 防災工学 固体力学 海岸・港湾工学 環境リスク評価論 地盤工学演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	○都市水循環 ○材料科学論 気象学 建造物の安全性・信頼性 政策評価手法	2 2 2 2 2	32 ※②  47 ※③
	職業指導					◎職業指導Ⅰ ◎職業指導Ⅱ	2 2			

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学校のみ必修となっている教職科目『道德教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

（例1）免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位**、**中学1種24単位**を修得したことになる。

（例2）免許教科「工業」を希望し、「工業」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位**を修得したことになる。

③「工業」のみの免許を取得する場合は、**教育実習に参加しなくても免許取得が可能である**。詳細はP13を確認してください。

精密機械工学科

(太字は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数	
数    学	代 数 学			◎代数学Ⅰ ◎代数学Ⅱ	2 2					中学校 24  高校 28 ※②	
	幾 何 学					◎幾何学Ⅰ ◎幾何学Ⅱ	2 2				
	解 析 学	○数学Ⅰ	2	応用数学Ⅰ	2						
		数学Ⅱ	2	応用数学Ⅲ	2						
		数学Ⅲ	2	応用数学Ⅳ	2						
		数学Ⅳ	2								
数学演習Ⅰ		2									
「確率論、統計学」			○応用数学Ⅱ	2							
コンピュータ	○情報処理 ○情報処理演習	2 2	情報工学演習	2							
教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数	
工    業	工業の関係科目	○精密機械材料Ⅰ	2	○精密機械製図	2	○計測工学Ⅰ	2	画像処理	2	32 ※②  47 ※③	
		○材料力学Ⅰ	2	○制御工学Ⅰ	2	○機械要素設計	2				
○設計製図通論		2	○機構学	2	○精密機械工学実験	2					
○力学Ⅰ		2	○精密機械工学プロジェクト	2	伝熱工学	2					
○力学Ⅱ		2	○工業熱力学	2	熱工学演習	2					
精密機械工学概論		2	○材料加工学Ⅰ	2	○材料強度学	2					
精密機械工学演習		2	○流体力学Ⅰ	2	○生産システム工学	2					
力学演習		2	○電気工学	2	制御工学Ⅱ	2					
○工業技術史		2	○電子回路	2	メカトロニクス	2					
			○制御工学演習	2	トライボロジー	2					
			材料力学演習	2	流体力学Ⅱ	2					
			機械力学Ⅰ	2	音響工学	2					
			流体力学演習	2	光学	2					
			精密機械材料Ⅱ	2	ロボット工学	2					
			材料加工学Ⅱ	2	工作機械学	2					
			材料力学Ⅱ	2	設計システム工学	2					
					加工制御工学	2					
					現代制御理論	2					
職業指導							◎職業指導Ⅰ ◎職業指導Ⅱ	2 2			

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学校のみ必修となっている教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合…

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位**、**中学1種24単位**を修得したことになる。

(例2) 免許教科「工業」を希望し、「工業」の教科科目を28単位取得済の場合…

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位**を修得したことになる。

③「工業」のみの免許を取得する場合は、**教育実習に参加しなくても免許取得が可能である**。詳細はP13を確認してください。

電気電子情報通信工学科

(太字は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	取得 単 位 数
数  学	代 数 学	線形代数 1	2	情報理論	2					中学校 24  高校 28 ※②
		線形代数 2	2	数理計画法	2					
	幾 何 学			◎代数学 I	2	◎幾何学 I	2			
	解 析 学	○数学 A	4	解析概論	4			応用数理解析	2	
	「確率論、統計学」	数学 B	4	数値解析	2					
コンピュータ	○デジタル代数及演習	3	○確率及統計	2						
						デジタル回路 情報数学	2 2			
教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	取得 単 位 数
情  報	情報社会及び 情報理論	○情報社会と倫理	2					生体情報工学	2	32 ※②
		技術と法	2							
		知的財産法演習	2							
	コンピュータ 及び情報処理 (実習を含む。)	○プログラム言語及演習 1	2	制御工学	2					
		○プログラム言語及演習 2	2	アルゴリズムとデータ構造 1	2			○コンピュータシステムとインターネット	2	
				アルゴリズムとデータ構造 2	2			データベース工学	2	
	情報システム (実習を含む。)									
情報通信ネット ワーク (実習を含む。)					情報通信伝送	2	○情報通信ネットワーク 通信機器 通信法規	2 2 2		
マルチメディア 表現及び技術 (実習を含む。)					センシング工学	2				
情報と職業					○信号処理	2				
							○情報通信産業論	2		
教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	取得 単 位 数
工  業	工業の 関係科目	○電気電子情報通信工学概論	1	○回路基礎及演習 2	3	○電気電子情報通信実験	6	○電気法規及施設管理	2	32 ※②  47 ※③
		○回路基礎及演習 1	3	○電磁気学及演習 1	3	○発変電工学	2	○ロボット工学	2	
				○電磁気学及演習 2	3	○電気化学と電池	2	○工学デザイン概論	2	
				○電気機器基礎	2	○電気・電子材料	2	工学デザイン実習	3	
				○電子回路 1	2	○電気機器設計	2	新エネルギー技術	2	
				○材料力学概論	2	送配電工学	2	科学技術英語	2	
				○コンピュータ工学基礎	2	電気機器応用	2	電力応用	2	
				電磁気計測	2	パワーエレクトロニクス	2			
				電子物性	2	電子デバイス	2			
				半導体工学基礎	2	電子回路 2	2			
				電子計測	2	電子回路設計	2			
				電気回路	2	量子論	2			
						システム制御	2			
						電磁波工学	2			
						光エレクトロニクス	2			
		職業指導					◎職業指導 I	2		
						◎職業指導 II	2			

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学校のみ必修となっている教職科目『道德教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合…

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位**、**中学1種24単位**を修得したことになる。

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合…

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位**を修得したことになる。

③「工業」のみの免許を取得する場合は、**教育実習に参加しなくても免許取得が可能である**。詳細はP13を確認してください。

応用化学科

(太字は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
理 科	物 理 学	○物理 1 ○物理 2	2 2					中学校 24  高校 28 ※②
	化 学	○基礎物理化学 ○物理化学 1 ○基礎無機化学 ○無機化学 1 ○基礎有機化学 ○有機化学 1	2 2 2 2 2 2	○物理化学 2 ○分析化学 有機化学 2 物理化学 3 無機化学 2 生化学	2 2 2 2 2 2	構造化学 量子化学 高分子化学 環境化学 応用無機化学 1 応用有機化学 2	2 2 2 2 2 2	
	生 物 学			○生物学 1 ○生物学 2	2 2			
	地 学			○地学 1 ○地学 2	2 2			
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理実験	2					
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○化学実験	2	○応用化学実験 1 ○応用化学実験 2 ○応用化学実験 4	2 2 2	
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎生物学実験 I ◎生物学実験 II	1 1			
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎地学実験 I ◎地学実験 II	1 1			

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学校のみ必修となっている教職科目『道德教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される

(例) 免許教科「理科」を希望し、「理科」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、高校1種28単位、中学1種24単位を修得したことになる。

ビジネスデータサイエンス学科

(太字は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
数 学	代 数 学	線形代数第 1	2	情報数学	2					中学校 24  高校 28 ※②
		線形代数第 2	2	◎代数学 I	2					
	幾 何 学					情報幾何学	2			
						◎幾何学 I	2			
	解析学	○数学 A	4	応用解析第 1	2	数値解析	2			
「確率論、統計学」	数学 B	4	応用解析第 2	2						
	○確率論	2	データ解析第 1	2	数理統計学	2				
	○統計学	2	データ解析第 2	2						
○情報処理演習	1	応用確率論	2							
コンピュータ	○統計学演習	1								
	○情報処理演習	1	○シミュレーション	2	計算機統計学	2				
						ソフトコンピューティング	2			

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
情 報	情報社会及び情報理論	○情報社会と倫理	2							32 ※②
	コンピュータ及び情報 処理（実習を含む。）	○情報処理	2	○情報システムの構造と理論	2			○計測と制御	2	
		プログラム言語及演習第 1	2	プログラム言語及演習第 2	2					
				電気電子工学概論	2					
	情報システム （実習を含む。）					○データベース工学	2	ソフトウェア工学	2	
						システム工学	2			
					知能システム工学	2				
情報通信ネットワーク （実習を含む。）	○OR第 1	2	○OR第 2	2	最適化手法	2				
			○情報通信ネットワーク	2						
			情報通信理論	2						
マルチメディア表現 及び技術 （実習を含む。）			テクニカル・プレゼンテーション	1	○ヒューマンメディア工学	2				
					画像処理システム論	2				
情報と職業					感性工学	2				
					○情報通信産業論	2				

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学校のみ必修となっている教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位**、**中学1種24単位**を修得したことになる。

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位**を修得したことになる。

情報工学科

(太字は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
数  学	代 数 学	○線形代数 1	2	○応用数学	2					中学校 24  高校 28 ※②
		線形代数 2	2							
		空間数学	2							
	幾 何 学					計算幾何学	2			
						◎幾何学 I	2			
					◎幾何学 II	2				
解 析 学	○数学 A	4	数理基礎 2	2						
	○数学 B	4								
	「確率論、統計学」			○数理基礎 1	2					
	コンピュータ	○情報総合概論	2	数理情報学 1	2					

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
情  報	情報社会及び情報倫理			○情報社会と倫理	2					32 ※②
	コンピュータ及び情報 処理(実習を含む。)	○Cプログラミング初級	2							
		○Cプログラミング中級	2							
		cプログラミング初級演習	2							
		cプログラミング中級演習	2							
	情報システム (実習を含む。)			○データベース技術	2	○オペレーティングシステム技術	2			
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)					○ネットワーク技術	2	システムプログラム	2	
					開発系プログラミング演習	2				
マルチメディア表現及 び技術 (実習を含む。)	○映像情報学	2	画像・映像コンテンツ演習 1	2	画像・映像コンテンツ演習 2	2	画像・映像コンテンツ演習 4	2		
					画像・映像コンテンツ演習 3	2	コンピュータグラフィックス	2		
情報と職業					○情報ビジネス	2				

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学校のみ必修となっている教職科目『道德教育の指導法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位**、**中学1種24単位**を修得したことになる。

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位**を修得したことになる。

生命科学科

(太字は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の規定 科目区分	1年次 授業科目	単 位	2年次 授業科目	単 位	3年次 授業科目	単 位	4年次 授業科目	単 位	最低取得 単位数
理 科	物 理 学	○物理 1	2					生物物理学	2	中 学 校 24  高 校 28 ※②
		○物理 2	2							
	化 学	○化学 1	2					生物有機化学	2	
		○化学 2	2					生物無機化学	2	
	生 物 学	○基礎分子生物学	2	○自然史野外実習	1	○応用生物学	2			
		○進化多様性生物学	2	代謝生物学	2	植物分子生理学	2			
		○基礎生物学	2	分子遺伝学	2	動物分子生理学	2			
		基礎生化学	2	地球環境・生態学	2	分子発生学	2			
				生体エネルギー論	2	環境応用微生物学	2			
				生命科学技術基礎	2	免疫学	2			
			進化学	2						
地 学	○地学 1	2								
	○地学 2	2								
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理実験	2								
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○化学実験	2								
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○遺伝情報学実験	3	生理・生化学実験	3				
			環境生物学実験	3						
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎地学実験 I	1						
			◎地学実験 II	1						

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学校のみ必修となっている教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例) 免許教科「理科」を希望し、「理科」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、高校1種28単位、中学1種24単位を修得したことになる。